

平成27年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成26年10月29日

上場取引所

上場会社名 株式会社 アサックス

URL http://www.asax.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (氏名) 草間 庸文

(氏名) 松川 雅一

TEL 03-3445-0404

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

コード番号 8772

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収	益	営業利	J益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,591	△6.8	1,615	△9.2	1,616	△9.3	991	△4.2
26年3月期第2四半期	2,779	8.0	1,779	19.0	1,781	19.1	1,034	17.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
27年3月期第2四半期	90.16	_
26年3月期第2四半期	94.15	_

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益の金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

_/ N1 M IN IN			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	61,039	25,146	41.2
26年3月期	58,514	24,595	42.0

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 25,146百万円 26年3月期 24,595百万円

2. 配当の状況

2. 85 3 07 7(7)	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
26年3月期	_	0.00	_	40.00	40.00		
27年3月期	_	0.00					
27年3月期(予想)				40.00	40.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日~平成27年 3月31日)

								(%表	表示は、対前期増減率)
	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,342	△3.3	3,362	△2.6	3,364	△2.6	2,040	0.2	185.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

27年3月期2Q ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 10,993,500 株 26年3月期 10,993,500 株 ② 期末自己株式数 27年3月期2Q 1,500 株 26年3月期 1,500 株 ③ 期中平均株式数(四半期累計) 27年3月期2Q 10,992,000 株 26年3月期2Q 10,992,000 株

(注)当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四 半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株)アサックス (8772) 平成27年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

○添付資料の目次

1 .	当四	9半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	3
	(3)	業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	サマ	マリー情報(注記事項)に関する事項	3
	(1)	四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(2)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半	半期財務諸表 ······	4
	(1)	四半期貸借対照表	4
	(2)	四半期損益計算書	5
		第2四半期累計期間	5
	(3)	四半期キャッシュ・フロー計算書	6
	(4)	四半期財務諸表に関する注記事項	7
		(継続企業の前提に関する注記)	7
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融緩和政策に支えられ、円安 及び内需を背景に企業業績が改善し、緩やかな回復基調で推移しております。

一方で、国内の設備投資は依然足踏みしており、原材料やエネルギーコストの上昇も懸念されることから不透明 感が払拭できない状況にあります。

不動産金融市場におきましては、回復基調の国内景気と金融緩和を背景に、不動産投資意欲の高まりにより商業地を中心に需給バランスの改善が進み、不動産の流動性は堅調に推移しております。

このような環境の下、当社におきましては、首都圏の不動産の流動性を背景に、従来通り「債権の健全性」を重視しつつも、キャンペーンの実施等により積極的な顧客開拓を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間における新規貸出は前年同四半期比3.6%増加し、期中回収額が前年同四半期比29.5%減少したことから、当第2四半期会計期間末における営業貸付金残高は、前事業年度末の54,931,100千円から2,746,543千円増加の57,677,644千円となりました。

当第2四半期累計期間における経営成績は以下の通りであります。

営業貸付金利息は、期中平均営業貸付金残高が前年同四半期比6.7%増となったものの、平均貸出金利が低下したこと等により、前年同四半期比79,207千円(3.5%)の減少となりました。その他の営業収益は、期中回収額が前年同四半期比29.5%の減少となったことによる解約違約金の減少が主因となり、前年同四半期比109,325千円(21.0%)の減少となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比188,532千円(6.8%)の減少となりました。

金融費用は、平均有利子負債残高が前年同四半期比増加となったものの、平均調達金利が低下したことにより、前年同四半期比12,900千円(3.4%)の減少となりました。

売上原価は、販売用不動産の処分が減少したことにより、前年同四半期比42,224千円(100.0%)の減少となりました。

その他の営業費用は、公租公課が前年同四半期比5,456千円(16.2%)の増加となったこと等により、前年同四半期比29,861千円(5.1%)の増加となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比25,263千円(2.5%)の減少となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなかったものの、法人税等合計は前年同四半期比 123,032千円(16.4%)の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、営業収益は2,591,062千円(前年同四半期比6.8%減)、営業費用は975,179千円(同2.5%減)となり、営業利益は1,615,882千円(同9.2%減)、経常利益は1,616,502千円(同9.3%減)、四半期純利益は991,043千円(同4.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の57,252,054千円から2,535,783千円 (4.4%) 増加の59,787,838千円となりました。これは主として営業貸付金の増加2,746,543千円 (5.0%) があったこと等によるものであります。

固定資産

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の1,262,390千円から10,587千円(0.8%)減少の1,251,802千円となりました。これは主として、投資その他の資産の破産更生債権等が58,090千円(95.3%)、貸倒引当金が33,800千円(92.3%)の減少となったこと等によるものであります。

② 負債の部

流動負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の14,803,564千円から504,635千円 (3.4%) 増加の15,308,199千円となりました。これは主として、短期借入金が1,000,000千円 (100.0%) 、未払法人税等が190,774千円 (23.7%) の減少となったものの、1年以内返済予定の長期借入金が1,690,523千円 (13.2%) の増加となったこと等によるものであります。

固定負債

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の19,115,346千円から1,469,196千円 (7.7%) 増加の20,584,543千円となりました。これは主として、長期借入金が1,486,266千円 (8.2%) 増加したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

配当金の支払い439,680千円があった一方、四半期純利益を991,043千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比551,363千円(2.5%)の増加となり、当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の24,595,534千円から551,363千円(2.2%)増加の25,146,898千円となりました。なお、自己資本比率は41.2%(前事業年度末は42.0%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年4月24日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 113, 287	1, 897, 402
営業貸付金	54, 931, 100	57, 677, 644
販売用不動産	2, 867	2,867
前払費用	39, 150	45, 395
繰延税金資産	111, 261	96, 171
その他	202, 988	224, 457
貸倒引当金	△148, 600	△156, 100
流動資産合計	57, 252, 054	59, 787, 838
固定資産		
有形固定資産	130, 092	135, 342
無形固定資産	30, 191	33, 124
投資その他の資産		
破産更生債権等	60, 983	2, 893
その他	1, 077, 722	1, 083, 241
貸倒引当金	$\triangle 36,600$	$\triangle 2,800$
投資その他の資産合計	1, 102, 106	1, 083, 334
固定資産合計	1, 262, 390	1, 251, 802
資産合計	58, 514, 444	61, 039, 640
負債の部		01, 000, 01.
流動負債		
短期借入金	1,000,000	_
1年以内返済予定の長期借入金	12, 830, 899	14, 521, 423
未払金	26, 697	30, 628
未払費用	45, 897	52, 46
未払法人税等	805, 935	615, 163
預り金	15, 255	13, 83
前受収益	45, 884	36, 898
賞与引当金	23, 492	28, 268
利息返還損失引当金	9, 500	9, 500
その他	2	17
流動負債合計	14, 803, 564	15, 308, 199
固定負債	11,000,001	10, 000, 100
長期借入金	18, 060, 129	19, 546, 396
退職給付引当金	36, 400	39, 400
役員退職慰労引当金	1, 011, 788	990, 513
その他	7, 028	8, 23
固定負債合計	19, 115, 346	20, 584, 543
負債合計	33, 918, 910	35, 892, 742
純資産の部	33, 918, 910	33, 692, 142
株主資本	0.207.040	0.007.046
資本金	2, 307, 848	2, 307, 848
利益剰余金	22, 288, 936	22, 840, 300
自己株式	△1, 250	△1, 250
株主資本合計	24, 595, 534	25, 146, 898
純資産合計	24, 595, 534	25, 146, 898
負債純資産合計	58, 514, 444	61, 039, 640

(2)四半期損益計算書 (第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	2, 258, 112	2, 178, 904
その他の営業収益	521, 482	412, 157
営業収益合計	2, 779, 595	2, 591, 062
営業費用		
金融費用	377, 961	365, 060
売上原価	42, 224	_
その他の営業費用	580, 257	610, 119
営業費用合計	1, 000, 443	975, 179
営業利益	1, 779, 151	1, 615, 882
営業外収益		
受取利息	212	142
受取手数料	97	59
償却債権取立益	1, 140	60
雑収入	1, 270	357
営業外収益合計	2, 721	619
経常利益	1, 781, 873	1, 616, 502
特別利益		
固定資産売却益	1, 556	_
特別利益合計	1, 556	
税引前四半期純利益	1, 783, 429	1, 616, 502
法人税、住民税及び事業税	773, 569	604, 068
法人税等調整額	△25, 078	21, 389
法人税等合計	748, 490	625, 458
四半期純利益	1, 034, 939	991, 043

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

		(去匹・111)
	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1, 783, 429	1, 616, 502
減価償却費	10, 299	12, 367
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2, 900	△26, 300
賞与引当金の増減額(△は減少)	4, 362	4, 776
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2, 700	3, 000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3, 525	$\triangle 21,275$
固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 1,556$	_
受取利息	$\triangle 212$	$\triangle 142$
営業貸付金の増減額(△は増加)	1, 585, 303	$\triangle 2,746,543$
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2, 221	58, 090
販売用不動産の増減額(△は増加)	16, 504	_
未払消費税等の増減額(△は減少)	△824	2, 083
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減 少)	△10,086	△12, 533
その他の資産の増減額 (△は増加)	244, 882	△36, 852
その他の負債の増減額 (△は減少)	$\triangle 97,502$	$\triangle 5,228$
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	3, 545, 945	$\triangle 1, 152, 056$
	212	142
法人税等の支払額	$\triangle 740,709$	△782, 309
営業活動によるキャッシュ・フロー	2, 805, 449	△1, 934, 223
投資活動によるキャッシュ・フロー	, ,	
有形固定資産の取得による支出	\triangle 19, 505	$\triangle 14,673$
有形固定資産の売却による収入	2, 004	
無形固定資産の取得による支出	△693	△5, 922
敷金の差入による支出	$\triangle 94$	△2,830
敷金の回収による収入	5, 347	195
その他	$\triangle 1$	_
	△12, 942	△23, 231
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入		1,000,000
短期借入金の返済による支出	△7, 733	$\triangle 2,000,000$
長期借入れによる収入	7, 071, 500	11, 320, 500
長期借入金の返済による支出	$\triangle 9, 113, 770$	△8, 143, 709
関係会社長期借入金の返済による支出	$\triangle 1,900,000$	—
配当金の支払額	\triangle 328, 357	△435, 220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4, 278, 361	1, 741, 570
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	$\triangle 1, 485, 855$	△215, 884
現金及び現金同等物の期首残高	4, 093, 760	2, 113, 287
現金及び現金同等物の四半期末残高	2, 607, 905	1, 897, 402
	2,001,000	1,001,402

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。